

研究課題名	セフトリアキソン+メトロニダゾールを投与する虫垂炎 保存パスの作成はカルバペネム使用率低下と抗生剤投 与期間短縮に寄与する
実施責任者	所属・職名：外科 部長
	氏名：山口 直哉
研究の概要	膿瘍形成性虫垂炎に対する保存加療として従来は 1 種類の クリニカルパスを用いて治療にあたっていました。炎症の 強い症例に対しては強力すぎる抗生剤を安易に用いること が多かったり抗生剤使用期間が長くなるなどのデメリット が目立ったため、このたび重症膿瘍形成性虫垂炎クリニカル パスを作成し、炎症の強い症例に対しては新しいクリニカル パスを用いて治療にあたることで、強力すぎる抗生剤使用期 間の均一化・短縮が図れるのではないかと考え、後方視的に 調査します。
対象となる個人情報	年齢、性別、血液検査結果、CT画像所見、治療経過など。
実施の期間	西暦 2018年 1月 1日より
	西暦 2022年 3月 31日まで
研究対象	上記期間において膿瘍形成性虫垂炎の診断で手術治療でな く保存加療を選択された患者様